

令和7年度 就学に向けての相談について ～7分でわかる特別支援学校～



横浜市教育委員会 特別支援教育相談課
(特別支援教育総合センター)

【本動画の内容】

1 特別支援学校・支援学校とは？

- ① 視覚障害部門・聴覚障害部門
- ② 知的障害部門
- ③ 肢体不自由部門
- ④ 病弱部門

2 特別支援学校の就学までの流れ

3 特別支援学校の就学希望について

Ⅰ 特別支援学校・支援学校とは

◆ 部 門 ……視覚障害、聴覚障害、知的障害、
肢体不自由、病弱

◆ 学級規模……**児童 6人**に対し、**教員 1人**

◆ 教育課程

特別支援学校の学習指導要領を基に、児童の障害の状況や特性及び発達に応じて、教育課程を編成

◆ 交流及び共同学習

学区の小学校の一般学級や個別支援学級の授業や行事等に参加

特別支援学校への就学には、学識経験者や専門家等で構成される会議で承認を得る必要があります。

①視覚障害部門・聴覚障害部門

視覚障害部門

(市立) 盲特別支援学校

(県立) 平塚盲学校

聴覚障害部門

(市立) ろう特別支援学校

(県立) 平塚ろう学校

② 知的障害部門

(市立)

本郷特別支援学校 港南台ひの特別支援学校

日野中央高等特別支援学校(高等部)

二つ橋高等特別支援学校(高等部)

若葉台特別支援学校(高等部)

(県立)

鶴見支援学校 高津支援学校 金沢支援学校

麻生支援学校 みどり支援学校 保土ヶ谷支援学校

瀬谷支援学校 藤沢支援学校

あおば支援学校

横浜ひなたやま支援学校(高等部) 岩戸支援学校(高等部)

鎌倉支援学校(高等部) 三ツ境支援学校(高等部)

(私立) 聖坂支援学校

(国立) 横浜国大附属特別支援学校

③ 肢体不自由部門

(市立)

上菅田特別支援学校
若葉台特別支援学校
北綱島特別支援学校
東俣野特別支援学校
中村特別支援学校
左近山特別支援学校

(県立)

中原支援学校
三ツ境支援学校
鎌倉支援学校
金沢支援学校
あおば支援学校

④ 病弱部門

(市立) 浦舟特別支援学校

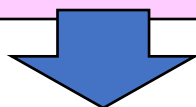
(県立) 横浜南支援学校

病院に入院した場合や医師の診断等がある場合に利用できます。

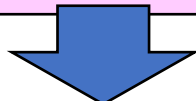
2 特別支援学校の就学までの流れ（一次相談後）

①二次相談（8月以降）

特総センターの職員が在籍をする「保育所」「幼稚園」「地域療育センター」を訪問し、実態等を詳細に把握し、「ふさわしい学びの場」を総合的に検討します。



②特別支援学校が望ましいとの判断が示された場合
（県立の場合は、入学前相談が必要）



③横浜市就学連絡会（11月頃、1月頃）

県立の場合 ④神奈川県教育支援委員会（12月頃、2月頃）



就学決定

3 特別支援学校の就学希望について

- ①特別支援学校への就学を希望する場合でも、
必ず学区の小学校で面談及び個別支援学級等の見学を行ってください。
- ②特別支援学校の見学は必ず行ってください。
- ③特別支援教育総合センターでの就学相談後は、保育所・幼稚園・地域療育センター等の関係機関と連携を図りながら、お子さんの実態を総合的に把握し電話での二次相談を行います。
- ④相談の申込みは、6月30日までです。早めに相談申込をしてください。締切後は対応できないこともあります。

3 特別支援学校の就学希望について

- ⑤横浜市立特別支援学校、神奈川県立支援学校への就学の決定は、横浜市教育委員会で決定します。

学校の指定は、神奈川県教育委員会・横浜市教育委員会との調整により、お住まいの住所で指定されます。

調整区域の場合は、対象となる全ての学校見学をしていただきます。

住所で指定される特別支援学校については、特総センターにお問い合わせください。

- ⑥聖坂支援学校と横国大附属特別支援学校等を受験する場合は、必ず相談申込書にその旨記載してください。

- ⑦相談の結果、**学区の小学校の個別支援学級等の判断**となる場合もあります。